

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き今年度事業化に取り組む	

活動団体名：一般社団法人MIT

活動地域：対馬

活動におけるテーマ・キャッチコピー

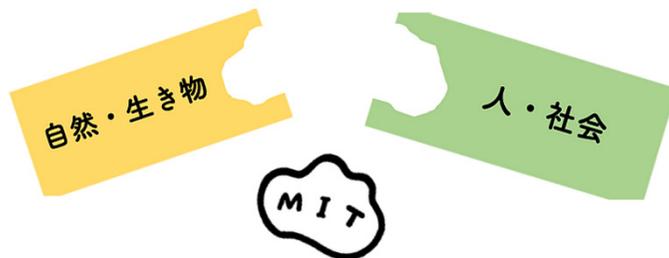
人とヤマネコとミツバチが共生する森づくり

活動団体紹介



人と生き物のつながりをみつけ・いかし・つなぐ
生物多様性の高い島嶼地域である対馬を拠点に、
人と生き物のつながりをデザインする会社です。

【触媒役 MITによる化学反応（イメージ）】



自然・生き物と人・社会が分断されている状態



MITが関わることで、自然・生き物と人・社会に化学反応が起こり相互作用が起こり、自然共生型の持続可能な社会に資する多様な取組みが色々な形で展開されて、新たな価値が生まれる。

M みつける部門 Consulting section

- ・ 行政施策支援
- ・ 人材発掘・育成支援
- ・ 各種調査業務

I いかす部門 Design section

- ・ 各種デザイン・イラスト
- ・ 広報・広告ツール作成
- ・ オリジナル商品開発

T つなぐ部門 Sales & Coordinate section

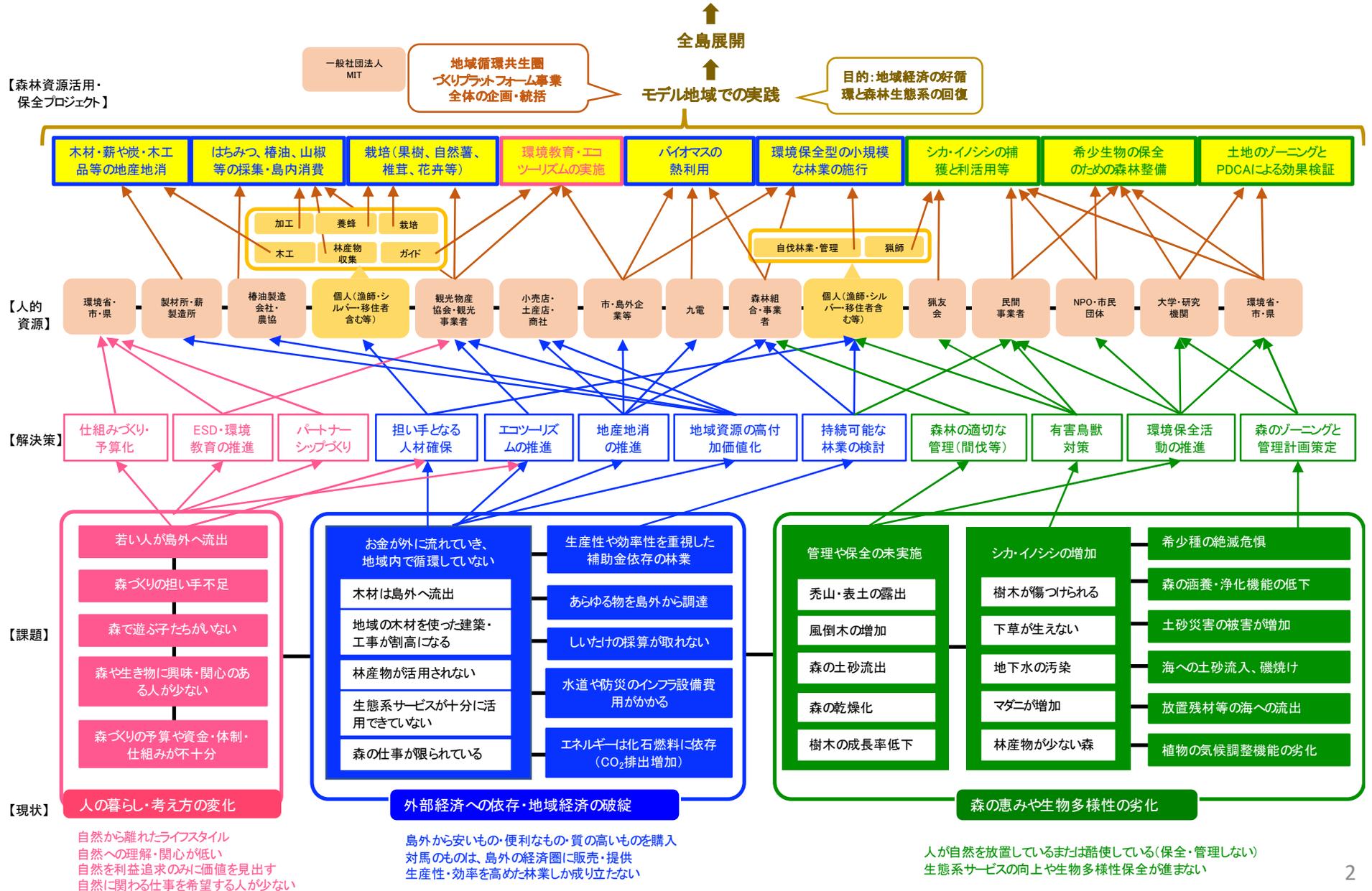
- ・ 物販直営店の運営
- ・ 商品の直販・卸売
- ・ コーディネート業務



★オフィシャルウェブサイト mit.or.jp

現時点での地域版マンダラ

【ビジョン】



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

人の暮らしの豊かさの向上と森林生態系の保全

中長期的に見て必要な取組や仕組み

対馬の森のゾーニングと
ビジョニング
【行政計画策定】

持続可能な森づくりの
担い手の確保
【実践教育/ESD】

場・担い手・資金を
確保し、継続的な事
業展開するための
プラットフォーム
の立ち上げ

森林生態系サービスの
価値化・見える化
【研究調査】

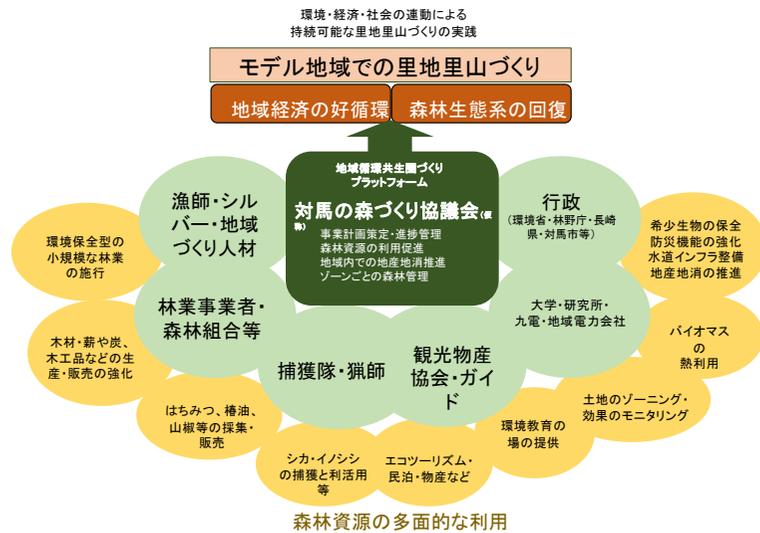
具体的な森づくり事業の
継続的な展開
【ビジネス・資金獲得】

今年度取り組みたい事業のタネや取組み(本事業でチャレンジしたい事)

- ・【場づくり】多様な主体が活動できる持続可能なモデル林づくり
- ・【人づくり】小規模林業及び有害鳥獣対策等の人材確保と育成
- ・【ものことづくり】多様な森林資源の高付加価値化に向けたビジネスモデルの構築

目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

2020年4月頃考えていた
地域プラットフォームのイメージ



2021年6月現在目指したい
地域プラットフォームのイメージ



より強化したい地域プラットフォームの機能

- 行政計画策定・研究調査・実践教育・ビジネス・資金獲得の事業計画を企画し、実施する仕掛け役
- 組織の立ち上げに向けたステークホルダーとの連携体制の構築

